

? 毎日のギモン紙面相談室



痛み止めは、飲まずに
我慢した方がいい?

痛みの原因となっている炎症を鎮めるためには、
急性期に痛み止め=解熱鎮痛剤で炎症を抑えることが大切です。

ケガなどで体の一部に炎症が起こっている時は、解熱鎮痛剤を使うことで熱をとり、炎症を抑え、結果として痛みを取り除きます。急性期に解熱鎮痛剤を使わないと、脳が痛みを記憶し、痛みが慢性化することがあります。一方で、漫然と痛み止めを使用すると、胃潰瘍などの消化管障害や腎臓が悪くなるなど副作用が現れることがあり危険です。したがって、解熱鎮痛剤は炎症が起こっている時(急性期)は我慢せずに飲み、痛みが治ったらスパッとやめるというのが正しい使い方です。変形性関節症など痛みがある程度長期間続くような場合は、痛みのある(炎症がある)時だけ使い、予防的に飲むことは避けましょう。



皆さんからの質問に、
とぴあ先生がお答えします!

とぴあ先生
豊富な経験と知識をもち、仲間や患者さんから信頼される、富田浜病院に勤める医師の理想像。

お願い

富田浜病院グループでは、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、皆さまをお迎えしております。来院、ご利用の際は、ご協力よろしくお願いたします。

医療法人 富田浜病院

〒510-8008 三重県四日市市富田浜町26-14

お気軽にお問い合わせください

tel 059-365-0023

富田浜病院

検索

HPIはこちら



とぴあ



Staff Voice

富田浜病院 健康増進センター
事務スタッフ

ほんまけいこ
本間 敬子

安心感や丁寧な説明、
居心地の良い空間づくりで、
選ばれる健康増進センターへ。

定期的な健康診断や人間ドックをご提供しているのが、私が所属する健康増進センターです。共済などの指定で来られる方もいれば、あえて富田浜病院を選んでくださる方もいます。検査内容そのものに、他の検診センターなどと大きな差がないものもあります。それでも私たちの健康増進センターを選んでいただくにはどうしたらいいか。検査内容やご請求する金額を間違えず、リラックスでき、居心地よく過ごせる場所づくりこそが、私たち事務スタッフの役割だと思っています。私たちの取り組みとして、例えば毎

日、来られる方について確認するカンファレンスをしています。健診内容やオプション、それにかかる料金が自己負担なのか会社負担なのかなど、細かな取り決めがありますから、間違えのないようにご説明するための準備をしています。また、歩くときに介助してさしあげることで移動しやすい、大きな声でお話するほうが聞き取りやすいなど、これまで感じたことの引継ぎもしています。長年にわたり選んでくださる方のためにポイント制度も導入し、オプションに利用できるようにするなど、サービス面での向上にも取り組むほか、ご提供する料理もアレルギーに配慮しながら季節感のあるものを取り入れ、ホッと和める時間づくりにも力を入れています。冬から春にかけては、お越しいただく方の人数が少し落ち着く時期です。この間のご利用もオススメしております。

部署
紹介



健康増進センター

受診される方にとって安心でき、しかも居心地よくリラックスできる場所になるようアンケートを参考にしながら改善しています。

健康増進センターは、人間ドックや健康診断を行う部署です。身長・体重測定から、血液検査、エコー検査、バリウム検査や胃カメラといった基本検査のほかに、「心臓ドック」や「脳ドック」といった専門的な検査や「プレミアムコース」、「レディースコース」などワンランク上の人間ドックもご用意しています。画像診断は専門医のダブルチェックを行い、再検査・精密検査のご案内も行っていきます。



検査内容を間違えないよう徹底
企業や共済、年齢などによって検査項目は異なります。お一人ずつ間違えないよう受付時に確認し、足りない検査がないよう心がけています。ご不安な点に対するオプションのご提案もしています。

予約から請求、結果表作成までスムーズに受付、検査誘導、昼食の配膳などは全員で担当しますが、個人・団体からの「予約」、企業・健保への「請求」や「結果表作成」については専門チームを組んでいます。団体用に結果表をデジタルデータでご提供もしています。



検査後のリラックスタイムをご提供
検査は非日常であり、お疲れになられていると思います。人間ドックの後に、おいしいお料理と喫茶によってホッと一息つける時間をご提供し、非日常をリラックスタイムとして捉えていただけるよう心がけています。

利用者さん、ご家族の皆さんへ

団体様からのご依頼時には日程配分をこちらで担当してご連絡するなど、できるだけご負担を減らすよう取り組んでおります。フルネームではなく番号でほしい、パーティーを立ててほしいといったご要望もお聞きしております。また、受けられる方のご心配に合わせたオプションのご提案も行っております。ご要望やご相談など、何でもおたずねください。

スター制度のご紹介

「スター制度」認定者インタビュー

富田浜病院グループでは、医療・介護業務以外の場面でも、技術やノウハウの習得や、それを通じた社会貢献活動に努めています。「スター制度」は、その活動が顕著であった職員がノミネートされるグループ内の評価制度。活躍に応じて「★」～「★★★★★」の段階があり、職員のネームプレートに掲載しています。



思いを真摯に受け止め信頼関係を築きともに働く仲間、利用者さんと向き合う。

主任介護支援専門員として、北圏域内の介護支援専門員の支援をする役割を担っています。10年前にコーチングを学び、支援において実践するなかでコーチングの効果を実感。インストラクター資格を得て、毎年三重県からの依頼で「介護有資格者再チャレンジ研修」で福祉職に向けてのコミュニケーション部門を担当したり、昨年度は三重県介護支援専門員協会から依頼で会員に向けたコーチングの講座を実施したりしました。仕事においても、相手との信頼関係を築くこと、思いを真摯に受け止めること、自ら考えて行動していけるようにサポートすることを念頭に置き、利用者さんやご家族さんと向き合っています。

四日市市北地域包括支援センター
主任介護支援専門員
真田 富紀



サッカーの現場で感じたことを活かし、ケガや痛みの予防に取り組んでいきたい。

16年間サッカーをしておりトレーナーに興味を持っていたところ、三重県トレセンでトレーナーとして活動している上司に誘われ昨年度より三重県トレセンU-12のサポートにスポーツ支援部サッカー班の助手として参加。今年度からはU-13で選手への救急処置や怪我を予防するためのウォーミングアップやクールダウンを中心にサポートしています。活動を通して、怪我をしやすい年齢や身体の特徴をリアルに体感しています。この経験を生かして予防の観点から、怪我をしないため、痛みを出さないためにケアできることを外来リハビリでもお伝えできればと思って取り組んでいます。

富田浜病院 リハビリテーション部
理学療法士
須川 幸穂

